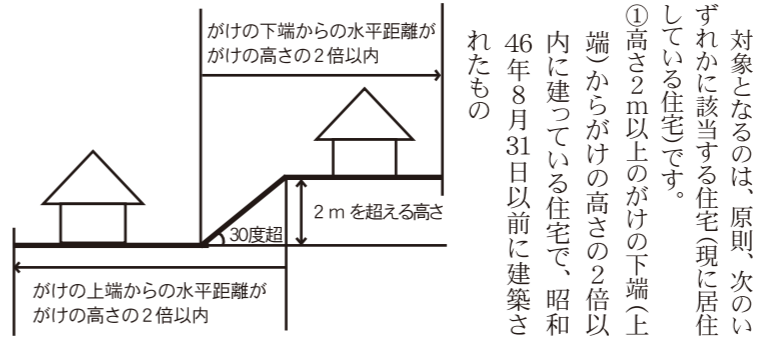


## あなたのお住まい安全ですか!?

がけ地の崩壊等により、住民の生命に危険を及ぼす恐れのある土地に建っている危険住宅を安全な場所に移転を促進するため、国と県および地方公共団体が移転者に危険住宅の除却等に要する経費と新たに建設または購入する住宅に要する経費に補助金を交付します。

②県の指定した急傾斜地崩壊危険区域、または土砂災害特別警戒区域に指定された際、その区域に建っていた住宅

### 補助金の限度額



**対象**  
対象となるのは、原則、次のいずれかに該当する住宅(現に居住している住宅)です。  
①高さ2m以上のがけの下端(上端)からがけの高さの2倍以内

経費の区分	補助対象経費	補助金の限度額(1戸当たり)
除却等費	危険住宅の除却等に要する経費	97万5千円
建物助成費	危険住宅に代わる住宅の建設または購入(これに必要な土地の取得および敷地造成を含む)をするために要する資金を金融機関その他の機関から借り入れた場合において、当該借入金(年利8.5%を限度とする)に相当する額	73万1千8百円 (建物:465万円 土地:206万円 造成:60万8千円)

問合せ 建設課建築係 TEL 76・1219

## 青少年の飲酒・喫煙防止にご協力を

青少年の飲酒や喫煙は、成長期における身体に悪影響を及ぼすだけでなく飲酒や喫煙が常習化すると、法律を破つても問題ないとの意識が芽生え、非行や犯罪につながりかねません。

### 社会全体で取り組みを

保護者や地域の皆さんへ  
20歳未満と知りながら安易な気持ちで喫煙・飲酒をすすめてはいけません。  
声かけ運動や巡回活動など地域で取り組みましょう。  
販売業者の皆さんへ  
相手が20歳未満と疑われる場合は、身分証明書などの提示を求めると年齢確認の徹底をお願いします。

### 子どもたちに良い環境を

市青少年育成センターでは、社会教育指導員2名が毎週市内の各学校周囲の巡回活動を行っています。  
その際、公園等も巡回して

いますが、隣接する駐車場や、トイレを含めてタバコの吸い殻や空き缶等のごみが目立ちます。大人が子どもたちの見本となり、よりよい環境を作りましょう。

### ひとりで悩まないで!

枕崎市青少年育成センターでは、心の悩み110番電話相談を開設しています。  
心の悩み・子どもの教育等ひとりで悩まないで気軽にお電話をください。  
TEL 0120-055-699(まごころ救急)

※相談日時 月曜日～金曜日  
午前8時30分～午後5時

※「かごしま教育ホットライン24」などの県相談機関の紹介も行います。

問合せ 青少年育成センター  
(市民会館内) TEL 72・2221

## 全国一斉に緊急情報の伝達訓練を実施

地震・津波や武力攻撃などの発生時に備え、全国一斉に緊急情報の伝達試験が実施されます。人工衛星などを用いて国から配信された緊急情報を全国瞬時に警報システム(Jアラート)を通じて防災行政無線で放送します。  
日時 8月10日(水) 午前11時頃  
試験内容 市内44カ所に設置してある屋外拡声機や戸別受信機から、次のように放送されます。

- ①防災行政無線チャイム
- ②「これは、Jアラートのテストです」(3回)
- ③「これは、ほごさい枕崎市です」
- ④防災行政無線チャイム

※年3～4回実施する全国一斉情報伝達試験のほか、緊急地震速報訓練(年2回)を実施しています。

問合せ 総務課危機管理対策係 TEL 76・1086

## 「かつおのぼり」がフォトドライブスポットに認定



写真を撮るために、わざわざ出かけてみたくなる、とっておきの鹿児島を集め、その魅力と驚きを世界中に発信していくプロジェクト「フォトドライブプロジェクト」のスポットとして「かつおのぼり」が認定され、7月13日に認定証が贈呈されました。

「枕崎駅」に続き2カ所目となる「かつおのぼり」は、鯉節生産量日本で全国有数の水揚げを誇る「かつおのまち」の発信や、子どもたちがかつおのようにたくましく成長するよとの願いが込められており、悠々と泳ぐ姿が枕崎を象徴するよとの風景として評価されたものです。

## 科学ってすごい!おもしろい! 善ちゃんのサイエンスショーを開催



6月30日から7月1日までの2日間、市内4小学校で「善ちゃんのサイエンスショー」が開催されました。

メディアでも活躍中のサイエンスクリエイター&パフォーマー「善ちゃん」こと北沢善一さんの披露する、まるで手品のような科学実験に、児童たちは興味津々。最後の実験「巨大空気砲」では、回転しながら飛んでいく空気の塊に大きな歓声が上がリ、全員で体験する科学に目を輝かせていました。

別府小学校6年生の俵積田幸咲さんは「くるくると回る空気が不思議でした」と話しました。

## 有限会社ハタノと大規模災害等発生時応援出動に伴う食料等供給に関する協定を締結



6月30日、本市は有限会社ハタノ(ファミリーマート畑野立神店)と大規模災害等発生時における応援出動に伴う食料等供給に関する協定を締結しました。

この協定により、大規模災害等発生の際に、国、都道府県および他の市町村からの応援要請に対して迅速に出動するため、その出動隊員の食料等を24時間、いつでも早急に供給してもらえるようになりました。

## 枕崎中学校で青年会議所がふるさと枕崎を知る講話を開催



7月3日、枕崎中学校で青年会議所専務理事を務める今給黎泰平さんが「枕崎のことを知ってもっと枕崎を好きになって」をテーマに講話を開催し、自身のバイクで日本を旅した経験から感じた枕崎の良さや、現在の生業でもある鯉節製造、その他の特産品などたくさん魅力を話しました。

講話を聞いた2年生の久保祥太郎さんは「枕崎にはいろんな特産品があっていいまちだなと思いました。まちのにおいや雰囲気が好きなので、枕崎で暮らしたいと思います」と話しました。

## 立神中学校で枕崎の未来を考える授業を開催



7月4日、立神中学校で枕崎の活性化へ向けた授業が行われ、3年生が部活動問題や枕崎をどうすれば活性化できるかについて話し合いました。

ブレインストーミングによるアイデアを生み出す手法を学んだ生徒たちは「ショッピングモールや人気のある店舗を誘致する」「遊べる場所を増やす」「枕崎に来るためにもっと便利な交通機関を増やす」などそれぞれの意見を発表しました。

オブザーバーとして参加した市民からは「施設も大事だが、そこに働く人の魅力があってこそ。将来に向けて自分の魅力も磨いてほしい」と話しました。